

令和8年度 No.2

中南の

令和8年8月21日発行

社会教育

こども・担当者のために
中南教育事務所
学校・地域の応援隊

県「CSと地域学校協働活動の一体的推進事業」

【令和8年7月2日（木） スポカルイン黒石 会議室】

テーマ「地域活動者・企業のための地域学校協働活動研修会～地域と企業が育むこどもたちの未来～」

講師 文部科学省CSマイスター 四柳 千夏子氏

当日は管内の小中の教員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員が多数参加して、演習や発表を通じて、大変活気ある研修会となりました。

前半の講義では、コミュニティ・スクール及び学校運営協議会の概要について確認後、CS一体化推進について実践例を示しながら説明を行いました。

後半は「中南地域のいいところ」をテーマに班ごとに模擬熟議を行い、熟議の成果を、お互いに発表しました。

参加者は熟議を重ねて「地域とともにあるいい学校」を、みんなで育むプロセスこそが大切であるということを実感することができた研修会でした。

（参考資料）コミュニティ・スクールについて

文部科学省ホームページ：学校と地域でつくる学びの未来

<https://manabi-mirai.mext.go.jp/>



コミュニティ・スクールの可能性について語る四柳氏。



熟議の中で次第に意見が盛りあがってきました。

中南「放課後児童対策に係る支援員等研修会（前期）」

【令和8年7月6日（月） 午前 青森県武道館 補助競技場】

講義 「子どもをまもるために大人ができること～今よりも悪化させないこと～」

講師 日本赤十字青森県支部 専門員 山野内 博見氏

もしもの時に備えて、身近な道具を利用した応急手当の方法やAEDの操作方法について演習しました。参加者からは「AEDの使い方、胸骨圧迫の方法等を体験しながら学べてよかった。」「いつどこで何が起こるかわからないので、そんな時に素早く判断して行動に移すために今日学んだことは役に立つと思いました。」「熱中症について学ぶことができてよかった。」といった声が寄せられました。

夏休みを前に、放課後の安全・安心な居場所づくりに役立つ充実した研修となりました。



ストッキングを使って応急処置の実演中。

事業訪問

中南教育事務所では各市町村の事業を取材し、情報の共有及びネットワークづくりを支援しています。

大鰐「ふるさと子ども教室 夏休み特別教室～アウトドア満喫編～」

【令和8年7月25日（土） 島田のますや・ひばのくに迎賓館（大鰐町）】

講師 大鰐・テヴィロップ代表 高橋 浩二氏

大鰐町の夏休み特別教室は「鱒釣り」と「飯ごう炊飯」で大いに盛りあがりました。薪割り、火起こしから始めて炊き上げたご飯と、自分で釣り上げた鱒の唐揚げに大満足の様子でした。

講師の先生からお話があった「思いやりの気持ちをもちましょう。」という指示を守って、夏休みの楽しい思い出ができました。



「思いやり」を大切に行動しよう！



鱒釣り、大物を釣り上げた瞬間！



炊飯は薪わりから・・・

大鰐「二十歳の集い（大鰐町成人式）」

【令和8年8月8日（土） 大鰐町中央公民館】

当日は参加対象者61名中49名が参加して二十歳の集いが行われました。会場では町の保健福祉課担当者による健康に関するブースが設けられ、式典前の参加者の多くが説明に聞き入っていました。

式典では参加者を代表して清水尊琉さんが「20歳としての自覚をもち自分自身をさらにみがいていく」と決意の言葉を述べていました。

式典後はリンゴジュースで乾杯した後、思い出に浸る感慨深い時間となりました。



今後の予定

- 放課後児童対策に係る支援員等研修会（後期）
- 令和8年11月16日（水）午前
- 青森県武道館 会議室・補助競技場
- 工作や軽スポーツを交えたレクリエーション研修を予定



編集後記

夏季休業期間は、中南管内でも多くの事業が行われています。今回は大鰐町で行われた二つの事業をご紹介します。今後も、各地に訪問して、各種事業を紹介したいと思います。ご協力よろしくお願いします。

（文責） 中南教育事務所社会教育主事 鈴木 敏浩